第10章　消　防　費

第10章　消　防　費

消　防　費

1　常備消防費

(1) 一般諸経費

備品購入

名　　称	規　　格	数　量	金額（円）	受　注　者	契約方法
消防吏員用上下型防火衣	㈱倉本産業 スプラウドフローネイビー	15着	3,795,000	野口酸素㈱	指名競争入札
陽圧式化学防護衣	デュポンジャパン㈱ タイケム 10000 ハズマックスブーツ	3式	1,052,700	野口酸素㈱	随意契約
移動式高圧空気充填機	野口酸素㈱ HPAC-III-AD4	1式	5,940,000	野口酸素㈱	指名競争入札
消防用ホース(40mm)	帝国繊維㈱ キンパイホース NEW プロファイターA 1.6MPa ロック町野リング締め ルミライトホース	1本	1,714,350	オブリック㈱	指名競争入札
消防用ホース(50mm)		18本			
消防用ホース(65mm)		15本			

(2) 消防職員研修事業

令和4年度に導入した無人航空機（ドローン）の操作研修を受講し、大規模災害時における情報収集をはじめ、山岳救助事案等において効果的な要救助者の検索ができるよう、委託業務を次のとおり実施しました。

委　託

名　　称	概　　要	金額（円）	委　託　先	契約方法
ドローン操作研修業務委託	無人航空機（ドローン）に関する基礎知識や操縦技能の研修	266,750	㈱　に　い　や	随意契約（一者随契）

成果等

職員1人が無人航空機（ドローン）に関する基礎知識及び操縦技能を習得するとともに、一般社団法人日本UAS産業振興協議会の定める無人航空機操縦に関するライセンスを取得しました。これにより、災害時等に無人航空機（ドローン）を活用する体制を強化しました。なお、消防職員のライセンス取得者数は、9人となりました。

(3) 各種負担金

救急車の適正利用（軽症者の割合の減少等）と救急医療機関の受診の適正化に資することを目的として県が設置した、救急安心電話相談窓口(#7119)の運営事業に対し、総事業費の1/2を各市町で負担しました。

負担金

名　　称	概　　要	金額（円）
救急安心センター事業負担金	救急安心電話相談窓口（#7119）の運営に係る負担金	1,404,000

２　非常備消防費

消防団活動事業

（1）消防団員健康診断

自営業者等の消防団員（159 人）のうち､健康診断を受ける機会の少ない者を対象に法定健診､HBs 抗原･抗体検査、HCV 抗体検査及び成人病健診として便潜血反応検査（大腸ガン）と胃部レントゲン検査を実施しました。

検査項目＼区分	受検人数（人）	受検率（％）	金　額（円）	委託先	契約方法
視力・聴力・血圧・尿検査・胸部X線間接撮影・心電図・生化学検査（肝機能・脂質）・血液一般	102	64	566,610	医療法人社団清風会芹沢病院	随意契約
便潜血反応検査	97	61	53,350		
胃部X線間接撮影	62	39	259,160		
HBs抗原検査	102	64	44,880		
HBs抗体検査	102	64	44,880		
HCV抗体検査	102	64	84,150		

成果等

健康診断を受ける機会の少ない自営業者等の消防団員を対象に毎年１回健康診断を実施し、健診の結果、異常が認められた団員に対して医師の診療を受けるよう指導することにより、消防団員の健康管理の向上を図りました。

（2）　備品購入

名　称	規　格	数　量	金額（円）	購入先	契約方法
消防団用投光器（フラッシュライト）	㈱マキタ製 ML007G	40	1,357,400	㈱西川	公募型指名競争入札
投光器用バッテリー	㈱マキタ製 BL4040	40			
消防団用ホース（65mm）	帝国繊維㈱製 キンパイ New マイティホース aya	34	2,508,000	オブリック㈱	公募型指名競争入札
消防団用ホース（50mm）		22			
消防団用ホース（40mm）		14			

（3）消防団員準中型免許等取得費補助金

災害時等における出動を円滑に行うとともに、消防団員の確保及び加入促進を図るため、消防車両を運転できない消防団員に対して免許取得費用を補助し、補助金交付額は合計 26 万 4,200 円でした。

成果等

6 個分団 6 人の消防団員が免許を取得し、災害時等における円滑な車両運用を図りました。

3　消防施設費

（1）富士市・富士宮市消防指令センター管理運営事業

負担金

名　　称	概　　要	金額（円）
富士市・富士宮市消防通信指令施設管理運営費負担金	消防通信指令事務協議会の運営経費に係る負担金	53,033,574

（2）中央消防署芝川分署建替事業

中央消防署芝川分署を浸水想定区域外かつ土砂災害の影響の少ない西山地区に移転します。自家給油設備等を設け継続的な消防活動が行えるよう備えることで防災拠点施設としての機能を有し、消防団詰所と隣接することで消防機能を一体化した、災害に迅速かつ継続的に対応する体制を整備します。令和７年度は移転に伴う委託業務を次のとおり実施しました。

委　託

名　　称	概　　要	金額（円）	委　託　先	契約方法
中央消防署芝川分署建替事業に伴う設計業務委託	基本設計及び実施設計	30,800,000	㈱エー・アンド・エー総合設計	指名競争入札

（3）消防ポンプ自動車等購入事業（繰越明許分）

令和６年度分を次のとおり繰り越して実施しました。

備品購入

名　　称	規　　格	数　量	金額（円）	購　入　先	契約方法
水槽付き消防ポンプ自動車(第10分団安居山)	ＣＤ-Ｉ型水槽付き	1　台	34,735,290	小川ポンプ工業㈱三島営業所	公募型指名競争入札
消防ポンプ自動車（第13分団）	ＣＤ-Ｉ型	1　台	31,166,000	ジーエムいちはら工業㈱東京営業所	公募型指名競争入札
梯子車（中央消防署）	30ｍ級先端屈折式伸縮水路付き	1　台	246,108,814	㈱モリタ	公募型指名競争入札

（4）消防団詰所整備事業

工　事

名　　称	工　事　・　概　要	金額（円）	受　注　者	契約方法
第17分団（下組）詰所解体工事	消防団詰所解体工事	2,530,000	㈱ワトー	公募型指名競争入札

（5）消防団詰所整備事業（繰越明許分）

令和６年度分を次のとおり繰り越して実施しました。

工　事

名　　称	工　事　・　概　要	金額（円）	受　注　者	契約方法
第27分団詰所駐車場整備工事	消防団詰所駐車場の整備及び耐震性防火水槽の設置	17,949,000	㈱旭建設	公募型指名競争入札

（6）消防施設維持補修事業

工　事

名　　称	工　事　・　概　要	金額（円）	受　注　者	契約方法
西消防署庁舎長寿命化工事（長寿命化対象事業）	車庫シャッターの更新	5,445,000	㈲セイ工務店	公募型指名競争入札

（7）その他建設事業負担金

消火栓の新設及び修繕

名　　称	工　事　・　概　要	金額（円）
新　　設	地下式消火栓　5基	6,080,467
修　　繕	消火栓修繕等　2基	2,232,120

成果等

消火栓を設置したことにより、火災発生時の迅速な給水及び消火活動が可能となり、火災による被害の軽減や地域の防災力向上、住民の安全・安心の確保に寄与しました。

４　防災費

（1）防災用資機材管理事業

地震等災害時に防災行政無線が正常に機能し、正確な情報の収集・伝達が行えるよう、保守点検を次のとおり実施しました。

委　託

名　　称	概　　要	金額（円）	委　託　先	契約方法
地域防災無線保守点検業務	地域防災無線（基地局2局、中継局2局、移動局187局）保守	9,240,000	㈱門田電話工業所	指名競争入札

（2）耐震性防火水槽設置事業

震災対策を主眼に消防水利不足地域に対し40㎥型耐震性防火水槽を設置するため、村山地区及び猪之頭地区において耐震性防火水槽設置工事を実施し、工事費は、合計2,209万9,000円でした。

成果等

耐震性防火水槽の整備により、地震による水道施設の被災時においても消火用水を確保できる体制が強化されました。これにより、災害時の消火活動の実効性が向上し、住民の生命・財産の保護と安全・安心なまちづくりに大きく貢献しました。

（3）防災用施設・資機材等整備事業

ア　工　事

名　　称	工　事　・　概　要	金額（円）	受　注　者	契約方法
令和7年度富士根交流センター敷地内防災倉庫建設工事	鉄骨造平屋建 延べ床面積100.04㎡	10,560,000	㈲　大　石　組	指名競争入札

成果等

避難者用の食料や生活用品等を備蓄するため、大型防災倉庫の建設工事を予定していましたが、入札不調等の理由により令和8年度に繰り越し、令和8年7月末の完了予定となりました。

イ　備品購入

名　　称	規　　格	数量	金額（円）	購　入　先	契約方法
可動式小型動力ポンプ	VE20 － A（C － 1級）	5	9,680,000	旭産業㈱沼津営業所	指名競争入札
防災倉庫（避難所用）	鍛造ステンレス石目模様防災倉庫Ａ－１－４型	3	12,493,800	㈱平和防災産業	指名競争入札
防災倉庫（自主防災会用）	LMD － 2922	5	1,954,000	㈱　西　川	指名競争入札

(4) 防災教育・訓練事業

委　託

名　　称	概　　要	金額（円）	委　託　先	契約方法
富士宮市防災マップ作成業務	冊子版の防災マップを更新し、58,000部作成	13,200,000	㈱中央ジオマチックス静岡営業所	指名競争入札

成果等

内容をこれまで以上に充実させ、名称を「富士宮市総合防災マップ」に改めて作成しました。また、令和７年３月に静岡県が指定した市内21か所の河川の浸水想定区域において、洪水ハザードマップを作成し、掲載しました。全戸配布するとともに、各公共機関にて配布を行いました。

(5) 同報無線施設運用管理事業

同報無線の基地局及び屋外受信所（子局256か所）が正確に作動するよう点検・整備等を実施しました。また、消防庁の通知により、全国瞬時警報システム受信機の更新を行いました。

委　託

名　　称	概　　要	金額（円）	委　託　先	契約方法
デジタル同報無線設備保守点検業務	デジタルの基地局・屋外受信所の保守点検	11,748,000	静岡無線サービス㈱	指名競争入札
全国瞬時警報システム受信機更新業務	全国瞬時警報システム受信機の更新	4,068,900	静岡無線サービス㈱	随意契約

(6) 国・県支出金を伴う運営費補助金

自主防災会運営費補助金

自主防災会の活性化を推進するため、126自主防災会に運営費補助金を交付しました。

交付額　1,422万円

内　訳　5万円× 126自主防災会 =630万円

200円× 3万9,600世帯 =792万円

(7) 各種補助金

感震ブレーカー設置費補助金

地震の揺れに伴う電気機器からの出火及び停電復旧時に起こる火災の発生を防止するため、感震ブレーカーを設置する100人に対し、補助しました。

交付額　249万6,000円

(8) 防災訓練の実施

市主体の訓練を９月１日に行い、災害対策本部の運営や各班の事務分掌に基づく個別訓練を実施しました。

自主防災会主体の訓練は、８月 31 日と 12 月７日を中心にそれぞれ行われ、様々な関係機関とともに、地域防災力を高める訓練が実施されました。

これらの訓練は、いずれも突発的な大規模地震の発生を想定したものですが、日頃の防災対策の確認と防災意識の高揚を図ることができました。

区　分	自主防災会数	参加人数（人）				
		自主防災会	災害対策本部	防災関係機関	その他	合　計
総合防災訓練	124	24,856	808	611	4,775	31,050
地域防災訓練	126	25,926	68	543	3,173	29,710

(9) 防災の啓発活動

富士宮市防災強化月間（６月１日～６月 30 日）

６月を防災強化月間として、次のとおり防災啓発事業を実施しました。

ア　防災展

市役所１階市民ホールにて市民を対象とした防災展を開催し、防災用品の展示や包括連携協定団体による新聞紙スリッパの作成及び口腔清拭体験を実施しました。

イ　災害時地域リーダー研修会

自主防災会長を対象に、避難所である学校の体育館を活用して、テントトイレやパーテーションの設営等の避難所運営に関する研修を行いました。

また、市担当職員が、個別避難計画・避難行動要支援者名簿について説明を行いました。

ウ　中学校での防災訓練

エ　全職員参集訓練

全職員を対象に、参集ルートの危険箇所や参集報告方法の確認を行うとともに、職場からおおむね半径６km 未満に居住している職員は、自動車及び公共交通機関以外の交通手段で参集する訓練を実施しました。

オ　資機材取扱訓練

地区担当班職員を対象とした避難所設営における各種資機材取扱訓練を実施しました。

カ　高校生による普通救命講習

市内５高等学校から各校５人程度を対象に、普通救命講習会を実施しました。